昭和47年12月5日

広報あじす

No.253

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 1番・〒754―12
印刷 阿知須砂郷よしの印刷

町の住民登録人口
(47年11月30日現在) 前月比
世帯 2,016世帯 ＋2
人口 8.058人 －3
(男3.808人 女4.250人)
(国勢調査昭和45年10月1日)
世帯 2.008世帯
人口 8.035人
(男3.730人 女4.305人)

（とじておくと便利です）

すぐれた人の育つ町

☆☆ 奉仕と努力が実を結ぶ ☆☆

すぐれた人、健康な人の育つ町をめざす阿知須町。それを裏づけるようにこの秋には団体や個人がいろいろ表彰の栄に輝きました。長い間の努力とその責務の遂行そして社会奉仕へとつとめた結果がここに認められたものだといえましょう。

県から「引野」だけ 優良子ども会表彰受ける

十一月三日の文化の日、引野子ども会（会長大田正之君＝六十三人）が毎日新聞社から優良子ども会として表彰されました。

これは毎年一回、同社が山口県と九州各県、沖縄県から一団体ずつ表彰しているもので、ことしは山口県から引野子ども会だけが選ばれたわけです。

引野子ども会は二十九年に発足し、三十八年には親たちが子ども会育成会を結成、よい子が育つために地区をあげて努力してきました。

会の目標は①会員各自の力を生かそう②心と身体をきたえよう③友情と親ぼくを深めよう―の三つ。行事は中学生が中心になって考え、毎月のようにレクリエーションをとり入れて行なっています。

これまで県教育委員会（四十年一月）吉敷郡 教育研究会（四十六年三月）からも表彰されています。それも、子どもたちの自主性と創造性が生かされていることが高く評価されています。その陰には指導者として長い間手がけてきた釈野憲章さんや育成会長の山敏英さん、それに父兄の理解と協力があったことが、ここまで育ってきたといわれています。

上は表彰状や旗を手にする引野子ども会員
下は表彰を受ける社会教育功労者

阿知須派出所だよりが特選

県警の広報紙コンクール

山口県警本部が十一月に行なった県下警察広報紙コンクールの派出所の部で阿知須派出所（清水克己所長）発行の「小鴨の巣」＝あじのす＝が特選に入賞しました。

このコンクールは警察署の部と派出所の部の二つに分けて行なわれたもので、出品約五十点のうちから選ばれたものです。

「小鴨の巣」は交通事故防止や犯罪防止、警察からのお知らせなど町内の人々への広報紙として発行しているもので、清水所長が自分で原紙をきり、謄写刷りで全戸に配っています。四十五年発行以来二十号を数えています。

団体は赤栄老友会 社会教育大会で

中田、野上さんは個人表彰

十一月二十三日阿知須小学校で町の社会教育振興大会が開かれましたが、この席上、中田光人さん（西条）野上八千代さん（小古郷西）赤栄老友会（代表者兼重タダ子さん）が社会教育功労者として表彰を受けました。

中田さんは町体育協会理事長として長年にわたり町の社会体育に尽したことで、吉敷郡教育研究会長賞。野上さんは婦人会長を長年つとめていること。赤栄老友会は赤迫付近の県道沿いの花木の手入れを続け、花と緑の町づくりにつとめていることが認められ、町教育委員会から表彰されたものです

松永フサ子さんに社会保険庁長官賞

松永フサ子さん（野口）は国民年金の徴収によくつとめたとして十一月十六日、社会保険庁長官賞が伝達されました。

本町の国民年金の徴収は白菊会が引受け、地区ごとに毎月集金しています。松永さんは長い間、野口地区を担当し、集金、納付状況がよいのでその功績が認められたものです。

PTA功労で二人

大村勝さん（東区）と飯田宏史さん（赤迫）はPTA功労者としてこのほど県PTA連合会から表彰されました。

大村さんは阿知須小・飯田さんは阿知須中PTA会長を今春、退くまで同校PTA役員を長年つとめ、教育振興に尽力したことがたたえられたわけです。

中尾町長は自治功労で

中尾岩雄町長は自治功労者として十一月二十二日、県知事から表彰されました。

これまで十五年余、町長をつとめるとともに、県町村会長の任に当るなど地方自治に尽したことが選彰されたものです。

恵まれない人にも あたたかい正月を

歳末助け合い運動を展開中

恵まれない人にあたたかいお正月を…ということで、毎年歳末助け合い運動を展開していますが、本町社会福祉協議会でも十二月は助け合い募金をすすめています。集まったお金は生活保護家庭や生活保護すれすれの家庭、老人ホーム入所者などに贈られます。

本町の現在の生活保護家庭は二十八世帯五十人です。

募金は婦人会を通じて行なっていますので、ご協力願います。

善意はここに

【社会福祉協議会へ】▽二万円―長久重善さん（小古郷西）は母ユキノさんの▽二千円―小川数徳さん（砂郷三）は父徳治さんの▽三万円―末永賢一さん（小古郷東）は父賢一さんの▽一万円―平岩真治さん（砂郷二）は妻ハルさんの▽一万円―長田春一さん（小古郷南）は長男健治さんの▽一万円―福田富代志さん（東）は父辰市さんの香典返しとして。

【町へ】山田正雄さん（下関市彦島町七丁目国鉄宿舎・小古郷南区出身）は二千円。村田勝之進さん（愛知県愛知郡東郷町春木前田製作所・恵比須区出身）は一千円。辻田勇さん（松阪市京町一の二八の五かずみ荘二号・岩倉辻出身）は二千円を広報紙送料として。

喫茶"オルフェ"＝浜区・国重久子さん経営＝は十一月十一日の開店四周年記念日にお客から受けた売上げ代金や浄財一万百二十四円を町内の小中学校特殊学級に指定寄付。

住民検診率は県下二位

"健康な人たちの住む町"をめざして本町は毎年、住民レントゲン検診を続けていますが、この受診率が県下二位の好成績だったため県知事表彰を受けました。

受診対象は国民健康保険の加入者のうち料飲食店、理美容業従業員を除く約二千六百人。これをレントゲン車で各地を向わって検診するもので、去年は九九・七%の高率を占し、阿武町についで県下二位でした。

レントゲン検診は結核の早期発見、早期治療の近道です。これからもみんな進んで受けるようにしましょう。

なお、本町在住者で結核のために現在入院している人は八人、また家で療養をしている人は十五人です。

あなたの家を防火診断

消防団員が一軒ずつ訪問

今月十五日から二十五日までの十一日間のいずれかの日に、町内全家庭の防火診断のため、消防団員が訪問いたします。消防団員がみなさんの家庭を訪れた際には、ご協力をお願いします。

また、毎夜九時に一分間、火災予防のためのサイレンを吹鳴していますが、来年一月五日まで続けますので火事と間違われませんように。また、二十八日から三十日までの三日間は午後九時半から午前二時半まで消防団員が町内をまわり警戒に当ります。

出初式は五日

町消防団の出初式は一月五日午前九時四十分から役場前広場で行なわれます。式後は役場南側で放水競技をします。

お知らせ

参加申込みは直接総務課へ

＝ 新年互礼会 ＝

町主催の新年互礼会を左記のとおり行ないます。参加希望者はお申込みください。

日時 一月一日午前十時半
場所 役場議事堂
会費 一人三百円
申込み 役場総務課へ直接
締切り 十二月二十日

道路を使うときは許可を受けてから

申請は役場経由で

工事のために道路を使ったり、立看板を立てたりするときは警察署の許可を受けてからにしましょう―。無断で使うと罰せられることもあります。

手続きは道路占用、または使用許可申請に位置図（一万分の一の地図）を添えて警察署に提出するわけですが、役場（施設課）を経由して提出することになっています。事前に役場へご相談ください。

十二月末に工業統計調査

通商産業省では十二月三十一日現在で工業統計調査を行ないます。

この調査は統計法に基づく指定統計調査として、毎年わが国の製造業をもれなく調査しその実態をつかみ、今後の行政や、企業の経営の指針、市場調査資料など各方面に広く利用されます。

なお提出された調査票は統計法によってその秘密は厳守され、統計目的以外、たとえば、税金徴収の算定資料等申告者に不利益となるようなことには一切使用いたしませんから、正しく記入されますようお願いします。

申込みは十五日まで

住宅金融公庫の貸付け

住宅金融公庫では、住宅を建てたり、改良する人に、建設資金をお貸ししていますが、本年の申込みは十二月十五日で締め切ります。希望者は、期限内に山口銀行阿知須支店、吉南信用金庫阿知須支店、阿知須農協などにご相談ください。

12月の行事予定

いよいよ師走。ことしもあと僅かとなりました。10日の衆議院議員選挙が終ると街はいよいよ迎春準備の気配が強まります。人の行き来があわただしくなると交通事故も多く発生しがちです。車を運転する人、歩く人、共に事故のないようつとめましょう。

9日	共立・同仁病院の消防訓練
10日	衆議院議員選挙・最高裁国民審査投票日
11日	青年文化教室（後7時）「人間の生きがい」 町社会教育委員の釈野憲章氏
12日	乳児検診（後1時～3時）
13日	豚丹毒の予防接種
21日	定例町議会
22日	豚コレラの予防接種
23日	三校第二学期終業式
27日	三種混合予防接種（後1時半～2時半）
28～30日	消防団歳末火災警戒

〔会場の記入のないものは役場〕

年末は早目に ねがいます

し尿の汲みとり ごみの処理

年末は大掃除のためたくさんのごみが出ますが、家から出たごみはできるだけ岡山のごみ焼却場まで運んでいただきますようご協力をお願いします。運べない場合は二十九日までにごみパックのところへ持ち出しておいてください。

また、し尿の汲みとりは二十六日までに厚生課へご連絡願います。それ以降は配車の都合がつかないことも予想されます。松の内は業者も休みとなりますので余裕をもってお申込みください。

年末は28日まで 新年は4日から

役場の執務

年末年始に当って役場は十二月二十八日午前中で今年の事務を終り一月三日まで休ませていただきます。御用始めは一月四日です。

しかし急用の場合は宿日直員がおりますのでお申出ください。電話は一番、有線一二四二番。

駐車場もゆったり

信用金庫の新店舗完成

吉南信用金庫阿知須支店（西条）従来の店舗の後方に鉄筋二階建の店舗を新築中でしたが、このほど完成、十二月四日から正式に開店しました。

新店の面積は約百六十平方メートルで一階は事務室、金庫室など、二階は四十人ぐらい収容できる会議室があります。玄関は駅通りに向いているため、従来の店を解体したため、いままでのように商店街の方からも入れます。駐車場も広くとっており、駐車場のない金融機関の悩みを解消しました。冷暖房施設もあり総工費約三千三百万円。

（写真は新築した信用金庫）

録音盤

草取り奉仕の喜び

兼重タダ子（赤迫）

○—私たちが草取り奉仕を始めたのはことしの五月からです。私たちの地区が温泉道路（県道—善和—阿知須線）のそばにあるし、町がせっかくきれいに植えておられるので、みんなが手入れをしようということになったのです。会員はいま三十五人です。うち女が二十二人います。草取りは女がやり、男の人は相談にのってもらうので作業には出てもらいません。

○—受持ちは赤迫橋の上流側約三百メートルです。旧道と新道の両側を月一回やっています。年はとっていても農業をやっている人ばかりですから、一般のまちの人とは仕事の仕方が違うと思っています。

○—奉仕をするようになってみんなこの日を楽しみにして参加してくださいます。草を取りながら年寄り同士の話、家庭の話、お互の悩みなど話合うのです。うれしいこと、悲しいことを話し合えば喜びは倍になり悲しみもうすらいできます。それに自分たちもまだ社会のお役にたてるのだということが大きな喜びです。

○—時に茶菓子を持ち寄ったりお米を持ち寄ってムスビを作り、道ばたに座って食べたりします。このときはみんな本当に楽しそうです。腰の曲った人は無理はできませんが、座り込んで草を一本取るだけでもよいからといって出てもらいます。それがまたその人たちの心に張合いをもたせると思います。

○—社会教育振興大会で私たちが表彰を受けましたがまだ日が浅いのではずかしいくらいです。でも、年寄りがみなさんのお役にたっているということをお認めいただいたものだと思いみんなで喜んでいます。ありがとうございます

（赤栄老友会会長）

さようなら1972年

ことしの歩みをふりかえる

ことしも、町内では特に大きい事故はありませんでしたが、道路の整備、それに伴なう住宅の新改築、民家の新築、学校の施設など町のたたずまいはかなり変っています。七月九日から降り出した豪雨は五日間で三百十ミリにものぼり本町では戦後最高の記録、それでも被害が最少限にとどめられたのは日ごろからの基盤整備のお陰だという声もありました。〝災害は忘れたころに来る〟という、ことわざを胸にしつつことしをふりかえってみましょう。

一月

十五日　百八人の成人式

二十四日　町長の新任期始まる

二月

十三日　町内囲碁大会で岡村久寿男さん（粟地）が本因坊に

三月

十一日　町議会で四十七年度新予算二億七千一百八十一万円を可決

十九日　第二十二回町内駅伝で砂郷チームが優勝

四月

一日　新しい行政区「沖の原」を新設

九日　歩け歩け運動が、宇部歩こう会と町教育委員会の主催で行なわれる

二十三日　第十六回町民運動会で寺浜チームが優勝

五月

十一日　戦没者慰霊祭

二十日　ひとり暮しの老人に愛のベルを設置

二十三日　老人大学開講式、二百余名が出席

二十八日　恒例の十七夜祭、米軍岩国基地児童も参加

六月

十一日　町民ハイキングで豊田町の華山へ

七月

六日　阿知須小学校水泳プールの竣工式

十四日　農業委員選挙で十人の公選委員誕生

十五日　保護司会山口地区総会が役場で

十六日　第二十二回町内野球大会で鴨生原チームが通算二回目の優勝

〃　吉佐管内のPTA研究会が阿知須中学校で

八月

三日　子ども会ソフトボール大会で飛沖チームが初優勝

四日　瀬戸内海区漁業調査調整委員選挙

二十日　吉敷郡体育大会で本町が総合優勝

二十七日　山口県知事選挙で橋本正之氏を四選

九月

一日　毎日二回町民体操を有線放送を通し奨励

三日　中尾岩雄町長が渡欧（二十七日帰朝）

十五日　五百七十五人を招待し敬老会

十月

十日　町内球技、婦人バレーボール大会で砂郷チームが優勝

十六日　第二回臨時町議会で新教育委員に久富和夫氏（砂二）田中八重子さん（恵比須）を選任。また監査委員に伊東隆一氏（日東）を再選

二十二日　合同納骨塔の慰霊祭

二十三日　中部地区社会福祉部会が町役場で

十一月

二十三日　町社会教育振興大会が阿知須小学校で、郷土芸能も上演

十二月

十日・衆議院議員総選挙投票日

＝郷土の芸能を一堂に＝

11月23日の町社会教育振興大会では、これまで本町に伝えられている郷土の芸能を一堂に集めて披露しました。

写真は小古郷代神楽（上左）河内の百万べん珠数くり（上右）十七夜祭の山車—東条（中左）闘鶏おどり—玉川（中右）阿知須浦の盆踊り—青年団（下左）井関側の盆踊り—引野（下右）

役場の窓

◆・十一月の心配ごと相談に合わせて交通事故相談をはじめて開設したところ十五人が問題をもち込まれました。相談をされるのは被害者、加害者ともにありましたが、深刻な問題をかかえている人も多いようです。〝あなたは交通事故の賠償を考えたことがありますか〟という呼びかけは考えれば考えるほど恐ろしいことばとなって身に迫るようです。

◆・ことしの本町は中尾町長の五期目の任期がスタート、十一月二十三日は町制二十五周年という一つの節に当る年でもありました。恵まれた自然と風土それにあたたかい人情を備えた土地柄は町外の人々にうらやましがられるところです。それだけに、この町をさらによりよい町に育てることが、みんなの願いでもありましょう。一面にご紹介しているように、長い間の努力はいつかは報われるのです。一年をふりかえり、さらに次の年への前進につとめたいものです。よい年をお迎えください。

たばこは町内で

阿知須町財政状況の公表

地方自治法および町条例に基ずいて公表します。

阿知須町長　**中尾岩雄**

1　歳入歳出予算の執行状況

（昭和47年4月1日～昭和47年9月30日）

<一般会計>			
歳入予算額	371.884.000円	歳出予算額	371.884.000円
収入　済額	190.426.593	支出　済額	141.699.875
収　入　率	51.21%	支　出　率	38.10%
<国保会計>			
歳入予算額	57.588.000	歳出予算額	57.588.000
収入　済額	23.358.026	支出　済額	20,310.304
収　入　率	40.56%	支　出　率	35.27%
<簡水会計>			
歳入予算額	12.980.000	歳出予算額	12.980.000
収入　済額	6,325.600	支出　済額	4,664,114
収　入　率	48.73%	支　出　率	35.93%
<交通共済会計>			
歳入予算額	2.134.000	歳出予算額	2,134,000
収入　済額	899.716	支出　済額	399.205
収　入　率	42.17%	支　出　率	18.71%
<土地取得会計>			
歳入予算額	4.475.000	歳出予算額	4.475.000
収入　済額	4.304.991	支出　済額	4.172.936
収　入　率	96.20%	支　出　率	93.25%

2　町債及び一時借入金の現在高　（47・9・30）

(1)	町　　債	196.302.615円
(2)	一時借入金	0

3　町有財産の概況　（47・9・30）

(1)	土　　地	795.658.77㎡
(2)	建　　場	14.477.44㎡
(3)	町一般基本金	4.012.707円
(4)	電話債券	140.000円
(5)	出　資　金	3.683.200円

慶弔録

出　生（おすこやかに）

父	続柄　子	月日	部落
七野勝美	長男　貴司	10・29	岩上
中野行夫	長女　幸子	11・4	寺河内
福本　博	長女　操	11・1	小東
上重正男	長女　淳子	11・13	岩上
網重保蔵	弐女　由香	11・17	東
中村安治	長男　秀之	11・21	岩上
網広忠夫	長男　一樹	11・13	小南
河口武志	長男　敏夫	11・13	井関
河村俊明	長女　美代子	11・16	寺河内
辻村文男	弐女　麻利	11・15	河内
原田　豊	弐男　博司	11・16	引野
下河　孝	弐女　希	11・20	岩上

婚　姻（おしあわせに）

末永　博紀　長崎県壱岐郡
好子（中野）校川

村藤　文男　北祝
かよ子（新垣）阿武郡むつみ村

梁元　吉成　築地
吉江（文）福岡市

[illegible]本　顕　仙在
輝子（原田）防府市佐野

村田　敏明　飛石
美佐子（多久和）広島県安芸郡

橋本　明男　築地
順子（磯部）恵比須

安永　智　築地
久美子（籐谷）島根県那賀郡

背戸山喜三　日北
タカ子（田中）山口市佐山

中尾　攻　浜表
久子（中村）山口市中央

辻　裕紹　徳山市本町
博子（国重）浜

今井　清　神奈川県川崎市
幸枝（八木沢）門松

中村　修　阿武郡旭村
啓子（藤井）岡

大谷　志成　浜
敬子（中原）福岡県久留米市

福村芳明　山口市深溝
和子（松崎）浜表

田中　章　防府市車塚町
芳江（石田）沖の原

吉川良治　砂三
陽子（的場）広島市宝町

河村　敏夫　鯛南
孝子（坂本）和歌山市今福

徳本　佳和　北祝
知恵子（林）小南

大田敏明　山口市嘉川
千代子（藤津）仙在

長井　清　河内
正子（井上）吉敷郡小郡町

益富　和彦　河内
昭子（日戸）西条

秋本　邦彦　吉敷郡小郡町
枝美子（浜田）中村

死　亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
福田　辰市	11・9	80	東
高井　マシ	11・9	71	南祝
吉岡ミヨ子	11・27	52	飛石

町民文芸

第43回阿知須短歌会

寺河内　兼重　きぬ

釘打つホッチキスの音さまざまに
真澄める秋の空に響かふ

浜　正司ウメノ

豊作の稲田は嬉し若嫁の鎌磨ぎや
りて共に刈りつぐ

岩倉　中本　幸枝

我吾子と強く生きむと励ましつ朝
陽射す田ではぜに稲かく

砂一　松代　二郎

ブロックの祠の中の地蔵尊錦の頭
巾被りて御する

砂二　橋本　淑子

かたことの吾子に童謡教へつつ行
く畑道にコスモスひとつ

西条　原田　双恵

秋雨のそぼ降る宵を湯にひたり亡
き友どちを指折り数ふ

砂三　藤永ミツノ

食卓の瓶にさしるる黄の菊の香り
漂ふ老人大学の朝

北祝　部坂　秩子

丈高き熊笹群のつづく径幾曲り来
て高原に出づ

砂二　渡辺　宮子

真夜中に病院へ急ぐつば車の返事
せぬ子にわれは語りぬ

浜　石田サダ子

夕茜に映ゆる鱗雲を背にうけて収
穫の車ゆっくりすすむ

岩上　上重　朝子

県体育場老人運動会に参加せり国
体さながら面目新し

次回は十二月十七日（日）一時半、兼重きぬさん宅。勅題「子ども」によせて一首、雑詠一首を十三日までに当家へ。歌のなかに「子ども」の文字がなくても子どもを表現する言葉がよみこまれておればよい。